

平成 21 年度 事業計画書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

学校法人駒澤大学

平成 2 1 年度 事業計画書

目 次

．学校法人駒澤大学の主な事業計画

- | | |
|----------------|-------|
| 1．学部・学科の新增設等 | P．1 |
| 2．教育・研究・学生生徒支援 | P．1～4 |
| 3．施設設備等の整備 | P．4～5 |
| 4．管理・運営 | P．5～6 |
| 5．地域社会との連携及び貢献 | P．6～7 |

．財務の概要

- | | |
|--------------------|-----|
| 1．平成 2 1 年度資金収支予算書 | P．8 |
| 2．平成 2 1 年度消費収支予算書 | P．9 |

．学校法人駒澤大学の主な事業計画

1．学部・学科の新増設等

【駒澤大学】

大学院の課程変更(博士後期課程の追加設置)

平成 19 年度設置した大学院医療健康科学研究科診療放射線学専攻修士課程に、平成 22 年度より博士後期課程（入学定員 3 人）を新たに追加設置するため、課程変更の準備を行います。

2．教育・研究・学生生徒支援

【駒澤大学】

WEB履修登録システムの開始

WEB履修登録システムを開始し、履修登録や成績管理の効率化を図ります。これにより、併せてシラバス・履修要項・時間割表もWEB公開が可能になります。

情報教育の充実

- ・パソコン教場を増設するとともに情報教育用マルチメディア教場システムを拡充し、増大するパソコン利用授業に対応できる環境を整備します。
- ・情報教育用パソコンシステムを整備し、教育研究の専門化・多様化への対応や研究グループの交流および共同研究を促進させます。
- ・パソコン利用者に対する技術サポート体制を充実させ、複雑な相談や機器トラブルに対応します。将来的にはサポートセンターに発展させ、支援体制を一層強化します。
- ・法科大学院では判例データベースへの同時アクセスを可能にします。

AV機器使用教場の拡大

AV機器を全教場に設置することにより、多種多様な教育形態に対応し教育効果の充実を図ります。

認証評価結果による改善計画の実施

大学基準協会による認証評価結果に基づき、各学部等が作成した改善計画に従ってより良い大学を目指し改善を図ります。

国際交流の推進・充実

- ・短期語学セミナーを春季・夏季休暇期間に実施し、語学力向上と異文化体験に基づくキャリアプランの形成を図ります。
- ・国際学術交流規程に基づいて国際センター業務を強化・推進し、協定校との交流の推進と充実を図るとともに協定校の拡大・拡充を目指します。

就職支援・キャリア支援の強化

学内企業説明会の拡大、インターンシップ採用枠の拡大促進、就職対策講座の充実およびUターン支援対策として道府県の東京事務所との連携を強化し、学生の希望や適性に合った就職や進路に就けるようサポートを強化します。

私費外国人留学生の奨学金支援

私費外国人留学生に対し授業料減免を講じ、留学生の修学を経済的にサポートすることにより本学の国際化を推進します。

FDの推進

授業内容・方法を改善することで個々の教員ならびに教員全体の組織的な教育力の向上を図り、学生の授業満足度を高めます。

研究活動の活性化

近年増えている受託研究、学外共同研究および奨学研究寄付金に関する研究要望に応えるため、新たに規程を整備し、積極的に外部資金を導入することで研究活動の活性化を図り、教育研究の発展と社会的評価の向上に努めます。

特別研究の助成

教員の専門分野の研究および調査に対し研究・出版費用の補助を行い、学問の進歩発展に寄与する特別な学術研究を促進します。

教員免許更新講習の実施

教員免許更新制の導入に伴い、平成 21 年度から教育課程認定大学として教員免許更新に必要な更新講習を行い、社会的責務を果たします。

電子図書館の推進

本学で構築している禅籍データベース、研究紀要・論集・論文等の知的財産、貴重図書などの学術資料のデータベース化を推進し、教育・学習・研究支援の充実を図ります。

また、オンラインデータベースによる新聞記事・法令判例・文献などの情報を利用者へ発信することにより、教育・学習・研究の促進を図り、横断検索の機能性を高めるとともに新たなデータベースの購入、冊子からデータベースへの移行を行うなど、利用者の利便性と限られた書庫の有効活用を図ります。

教育懇談会の充実

大学の近況報告と学業・就職・学生生活の様子などを保証人(ご父母等)にご理解いただき、親睦・交流の充実を図ります。

学生募集の強化

受験生、保護者、高校および予備校の教員など志願へ繋がるあらゆる方向に適確な広報活動を展開し、更なる受験生の確保に努めます。

高校・予備校訪問や高校教員を対象とした入試説明会を開催するとともに、オープンキャンパスの実施回数を増やし、募生活動の強化を図ります。

入試会場の拡大

地方の受験生に受験機会を提供するため、平成 22 年度入試から「全学部統一日程入試」の会場を地方の 5 都市(札幌、仙台、新潟、名古屋、福岡)にも広げ、全国型大学としての位置付けを図ります。

ホームカミングデーの開催

同窓会との連携によりホームカミングデーを開催し、同窓生・在校生・教職員が互いに交流を深め、本学に対する意識と関心を高める機会を設けます。

健康促進の支援

学校保健安全法に基づく健康診断、健康調査、応急処置等から学生の健康状態を把握し、学生が大学生活を有意義に過ごせるよう健康促進を支援します。

【苫小牧駒澤大学】

海外広報活動の強化

韓国・中国・ベトナム・台湾における現地での新聞広告、相談会への参加および日本語学校の訪問を実施し、優秀な学生の確保を図ります。

教職免許取得希望者の支援

小学校教諭・幼稚園教諭の免許取得希望者が、新たに連携する近大姫路大学教育学部の科目等履修制度を利用することで取得を可能にします。

高大連携教育の推進

附属苫小牧高等学校と単位認定を含むカリキュラム編成の検討、宗教教育、国際交流、英語教育、クラブ活動などを通じて高大連携教育を更に推し進めます。

学生研究発表会

学生の研究活動を市民に発表公開する場を設け、地域における本学の存在意義の認識を深め学修の活性化を図ります。

就職支援の強化

就職支援のためキャリアプラン一連の基礎・応用・実践の科目を開講し、学生の就職意識と能力の向上を図ります。

留学生支援

私費外国人留学生に対し、国内において安心して修学できるよう生活費等の一部を支援します。

図書館機能の設備充実

学生を中心とする利用者に対し、業務の質およびコンテンツの量の両面から知の拠点となる図書館機能の充実を図ります。

自己点検・評価の認証評価申請の準備

平成 22 年度に自己点検・評価の相互評価・認証評価を受けるための準備を行います。

【駒澤大学高等学校】

環境教育の充実

環境教育の一環として省エネ診断士による講演会を開催し、地球環境問題の大切さや省エネ活動の重要性を理解させる教育を実施します。

また、平成 18 年度から長野県信濃町に県の森林里親制度により開設した「駒澤大学高等学校絆の森」での学校林作りを実践する教育展開を行っており、環境教育の充実を図ります。

キャリア教育の充実

社会のニーズに対応する人材を送り出すため、各社会分野で活躍する方々を講師として招き、生徒の職業に対する意識を高めさせ、健全な社会人となるべく人材の育成を目指します。

自転車の安全運転教育の強化

自転車の通行等に関するルール改正に伴い、所轄警察署から講師を招き通行ルール等の周知を図り生徒の安全性とマナー向上に努めます。

また、警視庁の「自転車の安全利用に関する教育モデル事業」へ参加し、自転車教育に関しての警察と学校との連携の在り方について検討を行います。

学校評価の実施

教職員、保護者等を対象に学校評価アンケートを実施し、教育活動の改善および教育水準の向上を図ります。

教職員研修会の実施

教職員の能力向上、教育内容の充実および安全管理の向上を図るため、外部講師による講演会や講習会を取り入れます。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

生徒募集の取組み強化

生徒募集活動（中学校訪問・オープンキャンパス・学校説明会・部活動体験入部等）の充実と強化を図ります。

教育改革の推進

生徒、保護者、教職員等を対象に学校評価アンケートを実施し、教育活動の改善および教育水準の向上を図ります。

クラブ活動の強化

奨学金制度を有効に活用し、有能な生徒の育成を充実させるとともに指導者体制を整備します。

進学指導対策の強化

進学クラスを中心とした講習・合宿学習などを実施し、学力向上と進学強化を図ります。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

カリキュラムの見直し

コース制教育課程の特色を生かしながらカリキュラムの見直しを行い、授業の効率化やコース制の活性化を図ります。

スイッチバック学習の実施

入学後2カ月間を「高校学習のアプローチ期間」として位置づけ、特別テキストを使った主要科目の基礎学力定着を図る学習指導を行います。

進学指導の強化

難関大学進学希望者に対し、外部進学塾を活用し学力向上のための強化を図ります。

進路指導の強化

進路選択で人気の高い「看護医療学校」への進学について、苫小牧市近隣の教育機関と連携し指導強化します。

高大一貫教育の推進

駒澤大学との高大一貫教育や苫小牧駒澤大学との連携教育を一層推進します。

生徒募集の強化

これまでの生徒募集活動内容（オープンスクール・中学校訪問等）の充実と強化を図ります。

3. 施設設備等の整備

【駒澤大学】

本館（本部棟・記念講堂・1号館）耐震設計

平成20年度耐震診断結果に基づき、耐震設計を実施します。

本校キャンパス東側道路付替第3期工事（平成22年度中完成予定）

駒澤大学21世紀プランに基づく校地および地域環境整備として、周辺道路の整備工事第3期となる旧修道館から駒沢公園出入口までの道路整備工事を行います。

8号館耐震等改修工事

全体的に老朽化が進んでいるため、耐震改修工事、エレベーターの設置、内外装工事およびトイレ改修工事等を行います。

第1研究館耐震2次診断

耐震性の低い建物のため、耐震改修（平成22年度予定）のための調査および耐震診断を行います。

玉川キャンパス部室棟建設（平成23年度中完成予定）

駒澤大学21世紀プランに基づく施設整備として、スポーツ系サークル施設の拠点となる新たな部室棟を建設します。

玉川キャンパス新弓道場・洋弓場建設（平成 22 年 4 月完成予定）

新部室棟の建設用地確保のため、現弓道場の北側に新弓道場・洋弓場等を建設します。

ネットワークシステムのリプレイス

K O M A n e t ネットワーク・サーバシステムの老朽化に伴い、機器およびケーブルのリプレイスを行い、利用者やデータ量の増大に対応するとともに、セキュリティを確立し、運用性と安全性を備えた情報環境整備を行います。

【駒澤大学高等学校】

第 5 期リニューアル工事

第 5 期リニューアル工事として新館・別館の空調機を更新し、第 1 A V 教室・地下ホールにプロジェクターの設置、地下ホールの防音化工事の実施、新館の屋上防水工事・外壁塗装工事等を行います。

施設設備省エネルギー化対策

環境問題に対する省エネルギー化の取組みとして、世田谷区エネルギー消費量報告制度を利用し、省エネ診断費用助成制度により実施した省エネ診断に基づき、省エネ機器の導入やランニングコストの削減に取り組みます。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

学生寮の整備

寮生増加に対応するため、施設設備の補充と整備を行います。

P C 機器の新規リース

老朽化した授業用 P C 機器を新規リースで入れ替えます。

体育館の整備

体育館整備の一環として床ワックス工事を行います。

生徒用シューズロッカーの購入

老朽化したシューズロッカーを入れ替えます。

4 . 管理・運営

【駒澤大学】

施設設備の維持管理

本法人出資の事業会社との契約を通して、大学施設・設備の維持管理・清掃・警備業務を専門業者へ委託し、一括契約とすることで更に経費を節減します。

事務消耗品の調達

平成 20 年度から導入した事務消耗品を W E B 上で申請・購入することにより、安価でかつ迅速な納品が可能になっていることから、更に効率のよい消耗品調達を行い経費の節減を図ります。

監事、公認会計士との連携強化

監事、公認会計士および内部監査室の連携により有効かつ効果的な監査を実現し、ガバナンスおよび内部統制を強化することで、社会要請に応える責務を担保強化します。

公益通報窓口の開設

公益通報者を保護することで、法令違反等不正行為の早期発見と是正を可能にし、組織内の内部統制とコンプライアンスの強化を図ります。

新人事・給与システムの導入

「新人事・給与システム」の導入により、事務量の軽減を図るとともに人事諸制度の改革や中長期採用計画等を検討できる体制にします。

研究所補助金の経理システム導入

研究所への補助金支出に経理システムを導入し、明確な支出管理を図ります。

ブランド構築

教育・研究活動および課外・文化活動を通して大学のブランドを確立し、地域社会への貢献をPRすることで社会への信頼性の回復を図ります。

【苫小牧駒澤大学】

経常経費の是正

経常経費における人件費や奨学金などの支出を見直します。

受験生向けWEBページのリニューアル

大学ホームページにある受験生向けページをリニューアルし、入試、オープンキャンパスおよび相談会等、受験生向けに情報の充実を図ります。

【駒澤大学高等学校】

第2号基本金の組入れ

第2号基本金（駒澤大学高等学校校地拡張事業資産）により、隣地取得資金の一部となる8億円について平成20年度から平成25年度まで先行組入れを行います。平成21年度は1億円の基本金組入れを行います。

募金事業

教育施設・環境整備事業の寄付金を募集し、教育施設・環境整備充実のための資金に充当します。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

経常経費の是正

経常経費における人件費や奨学金などの支出を見直します。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

経常経費の是正

経常経費における人件費や奨学金などの支出を見直します。

5. 地域社会との連携及び貢献

【駒澤大学】

生涯学習の推進

大学の知的財産の社会還元を目的として地域貢献の一翼を担ってきた公開講座を、より一層充実したものとなるよう企画し、社会人の生涯学習の機会を提供します。また、玉川キャンパスの健康づくり教室では、個人の健康増進と技術の向上を促進します。

せたがやeカレッジ

世田谷区と大学が協働で運営している「せたがやeカレッジ」を通じ、区民や全国に向けインターネットを利用した文化創造型の新しい学習サービスに取り組みます。

法科大学院による法律相談の実施

第一東京弁護士会との連携により無料法律相談を年2回開催します。

コミュニティ・ケアセンター

個人・家族・地域社会等に対する心理的支援を行い、社会への還元と貢献に努めます。

禅文化歴史博物館

歴史的建造物を保存・活用し、禅の文化と歴史をテーマとした博物館として広く一般開放しています。

【苫小牧駒澤大学】

地域中学校・高等学校の英語教育の推進

市内および近隣自治体の中学生・高校生を対象として英語弁論大会を実施し、地域全体の教育向上を図り本学への理解を深めます。

施設の貸出

サッカー場、グラウンド、体育館、教場およびゲストハウス施設を高等学校部活動、各種試験会場、研修会場として貸出し、施設の有効利用と地域との関係を深めます。

【駒澤大学高等学校】

公開講座

学校施設を開放して近隣住民や保護者を対象とした参禅会を実施します。その他、地域の子どもたちを対象として剣道教室・柔道教室を実施し、地域とのコミュニケーションや連携を図ります。

合同演奏会

高校体育館にて海上自衛隊東京音楽隊との合同演奏会を開催し、地域住民との親睦を図ります。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

地域行事等への積極的参加

駒澤美術展や早朝坐禅会の実施、地元夏祭りやボランティア運動クリーングリーン作戦へ積極的に参加し、市民との交流を図ります。

施設の貸出

旧教養部施設を育児施設や介護事業の事務所として、岩見沢市やその外郭団体に継続して貸出し、施設の有効利用と地域社会との関係を深めます。

地域への奉仕活動

施設貸出を行っている育児施設への参加協力、また独居高齢者宅の除雪・排雪奉仕活動など、「総合的な学習時間」を活用する生徒のボランティア活動を通じて地域社会との関係を深めます。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

施設の開放

坐禅堂を一般開放し、近隣住民も参加できる坐禅会などを通じて地域とのコミュニケーションや連携を図ります。

課外活動成果の発表

吹奏楽部、美術部および書道部などの活動成果を、コンサートや展示会を通じて近隣の中学生や住民に発表し、学校への理解を求める取組みを行います。

財務の概要

学校法人 駒澤大学

平成21年度 資金収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(収入の部)

(単位：千円)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 17,275,189 | 16,890,447 | 384,742 |
| 手数料収入 | 981,729 | 1,061,029 | 79,300 |
| 寄付金収入 | 236,478 | 285,721 | 49,243 |
| 補助金収入 | 1,852,432 | 2,075,255 | 222,823 |
| 資産運用収入 | 160,490 | 1,218,764 | 1,058,274 |
| 資産売却収入 | 0 | 638,767 | 638,767 |
| 事業収入 | 106,311 | 108,025 | 1,714 |
| 雑収入 | 445,074 | 600,651 | 155,577 |
| 借入金等収入 | 304,000 | 25,484,000 | 25,180,000 |
| 前受金収入 | 6,862,635 | 6,849,375 | 13,260 |
| その他の収入 | 1,111,594 | 5,885,941 | 4,774,347 |
| 資金収入調整勘定 | 7,268,817 | 7,857,454 | 588,637 |
| 前年度繰越支払資金 | 8,491,250 | 12,688,652 | 4,197,402 |
| 収入の部合計 | 30,558,365 | 65,929,173 | 35,370,808 |

(支出の部)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 人件費支出 | 11,445,564 | 12,462,823 | 1,017,259 |
| 教育研究経費支出 | 5,491,010 | 5,355,466 | 135,544 |
| 管理経費支出 | 1,075,862 | 16,418,018 | 15,342,156 |
| 借入金等利息支出 | 438,382 | 278,784 | 159,598 |
| 借入金等返済支出 | 1,392,576 | 13,179,096 | 11,786,520 |
| 施設関係支出 | 386,465 | 475,349 | 88,884 |
| 設備関係支出 | 302,014 | 459,229 | 157,215 |
| 資産運用支出 | 604,458 | 8,507,005 | 7,902,547 |
| その他の支出 | 389,606 | 388,542 | 1,064 |
| [予備費] | 246,000 | 248,000 | 2,000 |
| 資金支出調整勘定 | 349,809 | 334,388 | 15,421 |
| 次年度繰越支払資金 | 9,136,237 | 8,491,250 | 644,987 |
| 支出の部合計 | 30,558,365 | 65,929,173 | 35,370,808 |

千円未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学

平成21年度 消費収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(消費収入の部)

(単位：千円)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|-----------------|------------|------------|-----------|
| 学 生 生 徒 等 納 付 金 | 17,275,189 | 16,890,447 | 384,742 |
| 手 数 料 | 981,729 | 1,061,029 | 79,300 |
| 寄 付 金 | 251,994 | 296,746 | 44,752 |
| 補 助 金 | 1,852,432 | 2,075,255 | 222,823 |
| 資 産 運 用 収 入 | 160,490 | 1,218,764 | 1,058,274 |
| 資 産 売 却 差 額 | 0 | 13,996 | 13,996 |
| 事 業 収 入 | 106,311 | 108,025 | 1,714 |
| 雑 収 入 | 445,074 | 600,651 | 155,577 |
| 帰 属 収 入 合 計 | 21,073,219 | 22,264,913 | 1,191,694 |
| 基 本 金 組 入 額 合 計 | 1,044,401 | 3,131,289 | 2,086,888 |
| 消 費 収 入 の 部 合 計 | 20,028,818 | 19,133,624 | 895,194 |

(消費支出の部)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| 人 件 費 | 11,273,899 | 12,273,920 | 1,000,021 |
| 教 育 研 究 経 費 | 7,139,013 | 7,021,024 | 117,989 |
| 管 理 経 費 | 1,297,216 | 16,649,831 | 15,352,615 |
| 借 入 金 等 利 息 | 438,382 | 278,784 | 159,598 |
| 資 産 処 分 差 額 | 179,065 | 51,585 | 127,480 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 1,603 | 3,184 | 1,581 |
| [予 備 費] | 246,000 | 248,000 | 2,000 |
| 消 費 支 出 の 部 合 計 | 20,575,178 | 36,526,328 | 15,951,150 |
| 当年度消費支出超過額 | 546,360 | 17,392,704 | |
| 前年度繰越消費支出超過額 | 25,591,928 | 8,199,224 | |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 26,138,288 | 25,591,928 | |

千円未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

平成21年度 消費収支予算書の構成比率

